

地産地消 店頭でPR

スーパーや飲食 県内153店がフェア

県内産の農畜水産物を地域で消費する「地産地消県民運動」を盛り上げようと、県内各地のスーパーや飲食店、道の駅など計153店舗で26日、地産地消フェアが始まった。売り場の特設コーナーや食材にこだわっ



県内産のトマトやキュウリ、イチゴ、ミカンが並ぶ特設コーナー。羽島市江吉良町、パロー羽島インター店

たメニューなど、店がそれぞれ独自の取り組みでPRしていく。来月6日まで。

県が主催し、「地産地消ぎふ応援団」に登録している販売業者の中からフェアへの参加店舗を募った。期間中に買い物や飲食で利用しInstagramに投稿した人を対象に、抽選で10人に3千円相当の県産米を贈るキャンペーンも行われる。

パローは県内にある69店舗が参加した。うち羽島市江吉良町の羽島インター店

では、海津市産のトマトとキュウリ、南濃みかんのほか、岐阜地域のイチゴ「濃姫」を固めて陳列した。川瀬浩平店長は「地元産の農

畜水産物は採れたてで鮮度が良く、お客さまにも喜ばれる。岐阜のものをしっかりとお届けしていきたい」と話した。(古家政徳)